

令和5年度 第2次筆記試験 事例Ⅳ(解答用紙)

第1問 (配点 20点)

(設問1)

	(a)	(b)
①	売上高販管費率	50.07 (%)
②	有形固定資産回転率	71.90 (回)
③	当座比率	311.97 (%)

(設問2)

同業他社との競争激化で売上が減少する中で、
未投入の商品開発のための基礎研究費用が負担となり、
人件費の削減も行っていないため、
売上高販管費率が悪化している。

第2問 (配点 30点)

(設問1)

(1)	63.31%	(2)	1,141,590 千円	(3)	3,111,447 千円
(4)	令和3年度損益分岐点比率： $3,111,376 \div 5,796,105 = 53.68\%$ 令和4年度損益分岐点比率： $3,111,376 \div 4,545,908 = 68.41\%$ 従って、 変動幅は $68.41\% - 53.68\% = 14.73$ ポイント				

(設問2)

(1)	ある ・ <input type="checkbox"/> ない																		
X	製	品	の	差	額	利	益	は	8	千	万	円	と	プ	ラ	ス	の	た	め。
(2)	W製品の貢献利益 $24,000 - 10,000 = 14,000$ 万円 Y製品の貢献利益 $4,000 - 1,500 = 2,500$ 万円 X製品の回避不能な個別固定費 3,000 万円 共通固定費 19,000 万円 以上から、X製品の製造を中止した場合で、需要の移動がなければ営業利益は $14,000 + 2,500 - 3,000 - 19,000 = \Delta 5,500$ 万円 全体の営業利益を2,500万円にするには、追加でY製品の限界利益が8,000万円必要である。Y製品の限界利益率は40%なので、 必要なY製品の売上増加は、 $8,000 \div 40\% = 20,000$ 万円																		

(設問 3)

売	上	高	基	準	で	共	通	費	を	配	賦	す	る	方	法	は	簡	便	で
あ	る	が	、	実	際	の	製	品	毎	の	コ	ス	ト	構	造	が	考	慮	さ
れ	な	い	た	め	、	事	業	の	存	廃	判	断	や	適	正	原	価	の	見
極	め	の	参	考	と	す	る	に	は	妥	当	と	は	い	え	な	い	。	

第3問 (配点 30 点)

(設問 1)

(1)	2,585 万円			(2)	△5,702 万円		
		1 年目	2~4 年目			5 年目	
	売上高	10,000	10,000			10,000	
	変動費	4,000	4,000			4,000	
	固定費	2,200	2,200			2,200	
	減価償却費	2,200	2,200			2,200	
	資産売却益					1,100	
	税引前	1,600	1,600			2,700	
(1)	税引後	1,120	1,120			1,890	
	減価償却費	2,200	2,200			2,200	
	運転資金	△800	0			800	
	FCF	2,520	3,320			4,890	
	$NPV = 2,520 \times 0.926 + 3,320 \times (0.857 + 0.794 + 0.735) + 4,890 \times 0.681 - 11,000$ $= 2,585.1 \dots \approx 2,585 \text{ 万円}$						
(3)	設備投資の $NPV = 2,585 \times 70\% - 5,702 \times 30\% = 98.9 \approx 99 \text{ 万円}$						
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない						

(設問 2)

(1)	・ 10,000 個の場合			
		2 年目	3~4 年目	5 年目
	売上高	10,000	10,000	10,000
	変動費	4,000	4,000	4,000
	固定費	2,200	2,200	2,200
	減価償却費	2,750	2,750	2,750
	資産売却益			1,100
	税引前	1,050	1,050	2,150
	税引後	735	735	1,505
	減価償却費	2,750	2,750	2,750
運転資金	△800	0	800	
FCF	2,685	3,485	5,055	
NPV=2,685×0.857+3,485×(0.794+0.735)+5,055×0.681-11,000×0.926=886.1				
・ 5,000 個の場合				
NPV=985×0.857+1,385×(0.794+0.735)+2,555×0.681-11,000×0.926=△5,484.2				
5,000 個の場合は NPV がマイナスなので投資しない。				
従って、初年度末に投資する場合の NPV の期待値は				
NPV=886×70%+0×30%=620.2 (答え) 620 万円				

(2)	N	P	V	期	待	値	は	初	年	度	投	資	で	99	万	円	、	2	年	目
	後	で	62	0	万	円	な	の	で	、	2	年	度	期	首	に	状	況	を	勘
	案	し	て	投	資	実	行	す	る	。										

第 4 問 (配点 20 点)

(設問 1)

○	E	M	生	産	に	よ	り	製	造	コ	ス	ト	を	低	減	で	き	る	。
ま	た	生	産	設	備	の	投	資	を	避	け	、	キ	ャ	ッ	シ	ュ	フ	ロ
一	の	改	善	が	可	能	に	な	る。										

(設問 2)

自	社	生	産	に	よ	り	製	造	コ	ス	ト	の	一	部	を	固	定	費	化
す	る	こ	と	で	、	営	業	レ	バ	レ	ッ	ジ	を	利	か	せ	て	収	益
性	が	向	上	で	き	る	。												